

登山での新型コロナウイルス感染症対策について

◆ご参加の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)対策の基本方針に基づき、お客様の健康と安全を確保できるよう、少人数でゆとりのある行程でのご案内を保ちつつ、新しい登山スタイルに取り組んでまいります。

ご参加の皆さまには、下記の確認書をご回答いただくことを参加条件といたします。

集合時に「新型コロナウイルス感染症対策の確認書」をご記入のうえご持参、または現地でご記入ください。

新型コロナによる身体症状は急速に悪化することがあり、救助や医療が制限される山中では、十分な対応が受けられないこともあります。

ご自分だけでなく他の登山者や山小屋のためにも、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくごお願いいたします。

◆登山中の予防と対策

1. イベント当日までの14日間は、ご自宅で体温測定していただき、37.5℃以上の熱や、新型コロナ特有の症状(咳、頭痛、のどの痛み、味覚や嗅覚がない、など)がある方、過去14日以内に入国制限や入国後の経過観察を必要とする国や地域(入国拒否対象地域)へ渡航された方、またはそれに該当する人物に接触された方、新型コロナ感染者やその濃厚接触者、との接触が疑われる方は、ご参加をお断りいたします。
2. ご高齢の方や基礎疾患(持病)がある方は、新型コロナの重症化のリスクが高いため、特に予防にご留意ください。
3. 現地までは、自家用車(お一人、またはご家族)での移動が理想ですが、公共交通機関や車の乗り合いで移動される場合は、マスクの着用、手指消毒や手洗い、換気の徹底をお願いします。
4. 新型コロナ感染防止のため、マスク、ネックゲイター、アイウェア(サングラス、眼鏡など)、使い捨て手袋、手指衛生用品、ゴミ袋を各自でご準備ください。(詳細は確認書をご参照ください)
5. 登山行動中は、各自の前後左右を1.5~2m程度間隔を空けて行動してください。基本的に山中では熱中症対策も考慮し、適切な距離が保たれていればマスク着用は必要ないと考えますが、登山道のすれ違いや狭い場所で集まらざるを得ない際にはマスク、ネックゲイター、アイウェアなどをすぐ着用できるよう、ご準備ください。
6. 登山中にトイレ、山小屋施設、鎖場、ハシゴ、ロープなどに触れた後は、不用意に顔を触れないようご注意ください。すぐに手指を消毒できるよう、小型のアルコールジェルなどを携帯してください。
7. 休憩や食事の際は、流水での手洗い、またはアルコールジェルでの手指の消毒をお願いします。お互いの顔を近距離で向き合わせず、大声での会話を避けるなどのご配慮をお願いします。
8. 登山中、新型コロナに特徴的な症状があらわれた、または新型コロナ感染者との濃厚接触が発覚した場合、他の登山者への影響を考慮し、ツアーを途中で中止して全員で下山いたします。登山終了後、同様に発覚した場合は、ただちに主催者へご連絡ください。また主催者側が同様になった場合も、速やかに皆さまへお知らせいたします。
9. 山小屋での宿泊時に感染対策として、直接寝具に触れないよう下記の物をご準備ください。
シュラフ(小屋の寝具を使いたくない方)、インナーシート、マクラカバー、マクラ

